

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3249797号
(U3249797)

(45)発行日 令和7年1月16日(2025.1.16)

(24)登録日 令和7年1月7日(2025.1.7)

(51)国際特許分類

F I

B 6 5 D 83/08 (2006.01)

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

B 6 5 D 33/00

B 6 5 D 83/08

B 6 5 D 33/00

B 6 5 D 33/00

G

C

A

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全8頁)

(21)出願番号	実願2024-3748(U2024-3748)	(73)実用新案権者	000115108
(22)出願日	令和6年11月11日(2024.11.11)		ユニ・チャーム株式会社
			愛媛県四国中央市金生町下分 1 8 2 番地
		(74)代理人	110003247
			弁理士法人小澤知的財産事務所
		(72)考案者	眞鍋 優佳
			香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1 - 7
			ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内
		(72)考案者	馬場 文乃
			香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1 - 7
			ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内
		(72)考案者	須田 朋和
			香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1 -
			最終頁に続く

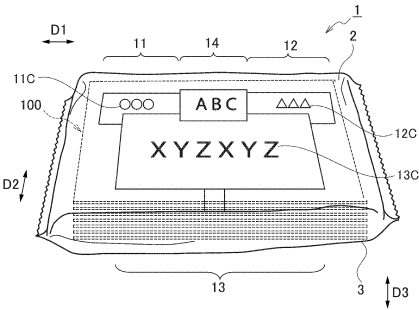
(54)【考案の名称】 衛生用品のパッケージ

(57)【要約】

【課題】使い捨て衛生用品の機能を使用者に伝え易いパッケージを提供する。

【解決手段】衛生用品のパッケージ（１）は、使い捨て衛生用品（１００）を複数収容する。パッケージの表面には、衛生用品の第１機能を表示する第１機能表示部（１１）と、衛生用品の第２機能を表示する第２機能表示部（１２）と、第１機能と第２機能の両方に関連する機能を示す第３機能表示部（１３）と、が設けられている。第１機能表示部と第２機能表示部は、平面視にて離間して配置されている。第３機能表示部は、第１機能表示部と第２機能表示部に跨がって配置されている。

【選択図】図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

使い捨て衛生用品を複数収容した衛生用品のパッケージであって、
パッケージの表面には、衛生用品の第 1 機能を表示する第 1 機能表示部と、衛生用品の第 2 機能を表示する第 2 機能表示部と、第 1 機能と第 2 機能の両方に関連する機能を示す第 3 機能表示部と、が設けられており、

第 1 機能表示部と第 2 機能表示部は、平面視にて離間して配置されており、

第 3 機能表示部は、第 1 機能表示部と第 2 機能表示部に跨がって配置されている、衛生用品のパッケージ。

【請求項 2】

10

前記表面には、前記衛生用品の商品名を表す名称表示部が設けられており、

前記名称表示部は、前記第 1 機能表示部と前記第 2 機能表示部の間に配置されている、請求項 1 に記載の衛生用品のパッケージ。

【請求項 3】

前記第 1 機能表示部、前記第 2 機能表示部及び前記第 3 機能表示部は、文字を有しており、

前記第 3 機能表示部の文字の寸法は、前記第 1 機能表示部の文字の寸法よりも大きく、前記第 2 機能表示部の文字の寸法よりも大きい、請求項 1 又は請求項 2 に記載の衛生用品のパッケージ。

【請求項 4】

20

前記第 3 機能表示部の面積は、前記第 1 機能表示部の面積よりも大きく、前記第 2 機能表示部の面積よりも大きくてよい、請求項 1 又は請求項 2 に記載の衛生用品のパッケージ。

【請求項 5】

前記第 1 機能表示部と前記第 2 機能表示部の一方における主の色は、無彩色であり、前記第 1 機能表示部と前記第 2 機能表示部の他方における主の色は、有彩色である、請求項 1 又は請求項 2 のいずれ 1 項に記載の衛生用品のパッケージ。

【請求項 6】

前記第 3 機能表示部の主の色は、有彩色であって、前記第 1 機能表示部と前記第 2 機能表示部の他方における前記有彩色の補色である、請求項 5 に記載の衛生用品のパッケージ。

30

【請求項 7】

前記第 3 機能表示部は、前記衛生用品を模したデザインを有する、請求項 1 又は請求項 2 に記載の衛生用品のパッケージ。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、使い捨て衛生用品を複数収容した衛生用品のパッケージに関する。

【背景技術】**【0002】**

40

使い捨て衛生用品は、パッケージに収容されており、使用時に 1 つずつ取り出して使用される。衛生用品のパッケージには、衛生用品の機能を示す機能表示領域が設けられている（例えば、特許文献 1 参照）。特許文献 1 のパッケージによれば、使用者は、衛生用品の購入時のみならず、衛生用品を取り出す際にも機能表示領域を視認でき、衛生用品の機能を把握できる。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】特開 2013 - 139294 号公報

【考案の概要】

50

【 0 0 0 4 】

しかし、パッケージの表面には、機能表示領域のみならず、商品名、吸収性物品の着用者を表す着用者画像等、種々の表示領域が付されている。そのため、使用者は、機能表示領域に基づいて機能を把握し難いことがあった。そのため、使い捨て衛生用品の機能をより伝え易くすることが望まれている。

【 0 0 0 5 】

本考案は、このような問題に鑑みて為されたものであり、使い捨て衛生用品の機能を使用者に伝え易いパッケージを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 6 】

一態様に係る衛生用品のパッケージは、使い捨て衛生用品を複数收容する。パッケージの表面には、衛生用品の第 1 機能を表示する第 1 機能表示部と、衛生用品の第 2 機能を表示する第 2 機能表示部と、第 1 機能と第 2 機能の両方に関連する機能を示す第 3 機能表示部と、が設けられている。第 1 機能表示部と第 2 機能表示部は、平面視にて離間して配置されている。第 3 機能表示部は、第 1 機能表示部と第 2 機能表示部に跨がって配置されている。

10

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 7 】

【図 1】図 1 は、衛生用品のパッケージの斜視図である。

【図 2】図 2 は、衛生用品のパッケージの平面図である。

20

【考案を実施するための形態】

【 0 0 0 8 】

(1) 実施形態の概要

本明細書及び添付図面の記載により、少なくとも以下の事項が明らかとなる。

態様 1 に係る衛生用品のパッケージは、使い捨て衛生用品を複数收容する。パッケージの表面には、衛生用品の第 1 機能を表示する第 1 機能表示部と、衛生用品の第 2 機能を表示する第 2 機能表示部と、第 1 機能と第 2 機能の両方に関連する機能を示す第 3 機能表示部と、が設けられている。第 1 機能表示部と第 2 機能表示部は、平面視にて離間して配置されている。第 3 機能表示部は、第 1 機能表示部と第 2 機能表示部に跨がって配置されている。本態様によれば、第 1 機能表示部と第 2 機能表示部が離間しているため、使用者は、それぞれの機能を把握し易くなる。また、第 3 機能表示部は、第 1 機能と第 2 機能の両方に関連した機能示している。第 3 機能表示部は、第 1 機能表示部と第 2 機能表示部に跨がって配置されている。そのため、使用者は、第 3 機能表示部によって示す機能が第 1 機能と第 2 機能のいずれにも関連した機能であることを把握でき、3 つの段階的な機能を容易に把握できる。

30

【 0 0 0 9 】

好ましい態様によれば、態様 2 に係る考案は、態様 1 に係る考案において、以下の特徴を有してよい。前記表面には、前記衛生用品の商品名を表す名称表示部が設けられている。前記名称表示部は、前記第 1 機能表示部と前記第 2 機能表示部の間に配置されている。本態様によれば、名称表示部によって、第 1 機能表示部と第 2 機能表示部を分離できる。使用者は、第 1 機能表示部と第 2 機能表示部を別々の機能を表示した部分であると認識でき、それぞれの機能を把握し易くなる。

40

【 0 0 1 0 】

好ましい態様によれば、態様 3 に係る考案は、態様 1 又は態様 2 に係る考案において、以下の特徴を有してよい。前記第 1 機能表示部、前記第 2 機能表示部及び前記第 3 機能表示部は、文字を有している。前記第 3 機能表示部の文字の寸法は、前記第 1 機能表示部の文字の寸法よりも大きく、前記第 2 機能表示部の文字の寸法よりも大きい。本態様によれば、第 3 機能表示部の文字を目立たせることができ、使用者は、第 3 機能をより把握し易い。また、機能表示部の文字の大小関係によって、各機能の関係性を示すことができる。そのため、使用者は、第 3 機能が第 1 機能及び第 2 機能に関連する機能であること、又は

50

第 3 機能が第 1 機能及び第 2 機能の包括的な概念の機能であることを感覚的に把握できる。

【 0 0 1 1 】

好ましい態様によれば、態様 4 に係る考案は、態様 1 から態様 3 のいずれか 1 項に係る考案において、以下の特徴を有してよい。前記第 3 機能表示部の面積は、前記第 1 機能表示部の面積よりも大きく、前記第 2 機能表示部の面積よりも大きくてよい。本態様によれば、第 3 機能表示部の面積が大きいため、第 3 機能表示部を目立たせることができる。

【 0 0 1 2 】

好ましい態様によれば、態様 5 に係る考案は、態様 1 から態様 4 のいずれかに係る考案において、以下の特徴を有してよい。前記第 1 機能表示部と前記第 2 機能表示部の一方における主の色は、無彩色であり、前記第 1 機能表示部と前記第 2 機能表示部の他方における主の色は、有彩色である。本態様によれば、使用者は、無彩色と有彩色を区別し易く、第 1 機能表示部と第 2 機能表示部を区別し易くなる。

【 0 0 1 3 】

好ましい態様によれば、態様 6 に係る考案は、態様 5 に係る考案において、以下の特徴を有してよい。前記第 3 機能表示部の主の色は、有彩色であって、前記第 1 機能表示部と前記第 2 機能表示部の他方における前記有彩色の補色である。本態様によれば、同じ有彩色であっても、補色の関係の色は、区別して認識され易い。よって、使用者は、第 1 機能表示部と、第 2 機能表示部と、第 3 機能表示部とを、区別して認識し易く、各機能を把握し易い。

【 0 0 1 4 】

好ましい態様によれば、態様 7 に係る考案は、態様 6 に係る考案において、以下の特徴を有してよい。前記第 3 機能表示部は、前記衛生用品を模したデザインを有する。本態様によれば、使用者は、第 3 機能と合わせて衛生用品を把握でき、機能と製品を関連付けて認識し易い。

【 0 0 1 5 】

(2) 実施形態に係る衛生用品のパッケージ

以下、図面を参照して、実施形態に係る衛生用品のパッケージ 1 (以下、パッケージ 1 とする) について説明する。なお、以下の図面の記載において、同一又は類似の部分には、同一又は類似の符号を付している。ただし、図面は模式的なものであり、各寸法の比率等は現実のものとは異なることに留意すべきである。したがって、具体的な寸法等は、以下の説明を参酌して判断すべきである。また、図面相互間においても互いの寸法の関係や比率が異なる部分が含まれ得る。

【 0 0 1 6 】

パッケージ 1 は、使い捨て衛生用品 (以下、衛生用品とする) 1 0 0 を複数收容する。衛生用品 1 0 0 は、清掃シート、汗拭きシート、マスク、吸収性物品 (生理用ナプキン、パンティライナー、使い捨ておむつ等) であってよく、洗濯して繰り返し使用する物品でなく、1 回又は数回で交換される物品であってよい。実施形態の衛生用品 1 0 0 は、清掃シートである。

【 0 0 1 7 】

図 1 は、パッケージ 1 の表面側から見た斜視図である。図 2 は、パッケージ 1 の表面側から見た平面図である。パッケージ 1 は、互いに向かう合う表面 2 と背面 3 を有する。表面 2 と背面 3 は、互いに直交する第 1 方向 D 1 と第 2 方向 D 2 を含む平面方向に延びる。本実施の形態の第 1 方向 D 1 は、横方向に延び、第 2 方向 D 2 は、縦方向に延びている。また、第 1 方向 D 1 の表面 2 の長さは、第 2 方向 D 2 の表面 2 の長さと同じであってもよいし、本実施の形態のように第 2 方向 D 2 の表面 2 の長さよりも長くてよい。表面 2 は、店頭の陳列時に正面側又は上面側に向かって配置される面であってよい。

【 0 0 1 8 】

表面 2 と背面 3 は、第 3 方向 D 3 に離間している。表面 2 と背面 3 の間に、衛生用品 1 0 0 を收容する收容空間が設けられる。パッケージ 1 は、表面 2 と背面 3 を繋ぎ、第 3 方

10

20

30

40

50

向 D 3 に延びる側面を有する。パッケージ 1 は、略直方体であってよい。各面は、矩形の面であってもよい。また、各面は、互いに交わる境界において垂直に交わずに、曲線状に交わっていてもよい。パッケージ 1 は、ポリオレフィン系樹脂、ポリエステル系樹脂等の樹脂フィルム、アルミ蒸着フィルム、及び紙のいずれかによって構成されてよい。

【 0 0 1 9 】

パッケージの表面 2 には、衛生用品 1 0 0 の機能を表示する機能表示部が設けられている。機能表示部は、衛生用品 1 0 0 の機能を示す表示であり、文字、絵柄、デザインによって機能を示すものであってよく、衛生用品の使用及び購入時の選択に役立つ表示であってよい。衛生用品の機能は、衛生用品の用途、性能、特徴を含む。各機能表示部の範囲は、文字の場合は、当該文字のみならず、その背景も含む範囲である。図 1 において、第 1 機能表示部 1 1、第 2 機能表示部 1 2、第 3 機能表示部 1 3、及び名称表示部 1 4 の第 1 方向 D 1 の範囲を示す。

10

【 0 0 2 0 】

機能表示部は、第 1 機能表示部 1 1、第 2 機能表示部 1 2、及び第 3 機能表示部 1 3 を有する。第 1 機能表示部 1 1 は、衛生用品 1 0 0 の第 1 機能を表示する。第 2 機能表示部 1 2 は、衛生用品 1 0 0 の第 2 機能を表示する。第 1 機能と第 2 機能は、異なる機能であってよく、関連する機能であってもよいし、関連しない機能であってもよい。例えば、清掃シートの衛生用品において、第 1 機能は、粉塵を絡め取る機能であり、第 2 機能は、清掃面を拭き取る機能であってよい。

【 0 0 2 1 】

20

第 3 機能表示部 1 3 は、第 1 機能と第 2 機能の両方に関連する第 3 機能を示す。第 3 機能は、第 1 機能にも関連し、かつ第 2 機能にも関連する機能である。好適には、第 3 機能は、第 1 機能と第 2 機能の両方を包括する上位概念の機能であってもよい。例えば、清掃シートの衛生用品 1 0 0 において、第 3 機能は、1 枚の清掃シートで拭き取りも絡め取りも完結する機能であってよい。

【 0 0 2 2 】

第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 は、平面視にて離間して配置されている。すなわち、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 は、第 1 方向 D 1 又は第 2 方向 D 2 において離れている。第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 が離間している構成は、各機能を示す文字、デザイン等が離間している構成のみならず、背景部が離間している構成も含む。本態様によれば、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 が離間しているため、使用者は、それぞれを別の表示部として認識し、各機能を把握し易くなる。

30

【 0 0 2 3 】

第 3 機能表示部 1 3 は、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 に跨がって配置されている。第 3 機能表示部 1 3 は、第 1 機能表示部 1 1 に連なり、かつ第 2 機能表示部 1 2 に連なっていればよい。第 3 機能表示部 1 3 は、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 に跨がって配置されている。そのため、使用者は、第 3 機能表示部 1 3 によって示す機能が第 1 機能と第 2 機能のいずれにも関連した機能であることを把握でき、3 つの段階的な機能を容易に把握できる。

【 0 0 2 4 】

40

パッケージ 1 の表面 2 には、衛生用品 1 0 0 の商品名を表す名称表示部 1 4 が設けられてよい。名称表示部 1 4 は、商品名を示す文字、デザイン、ロゴを含んでよい。本態様によれば、名称表示部 1 4 によって、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 を分離できる。使用者は、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 を別々の機能を表示した部分であると認識でき、それぞれの機能をより把握し易くなる。本実施の形態において、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 は、第 1 方向 D 1 に離間しており、第 1 方向 D 1 における第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 の間に名称表示部 1 4 が配置されている。名称表示部 1 4 の第 2 方向 D 2 の長さは、第 1 機能表示部の第 2 方向 D 2 の長さよりも長くてよく、第 2 機能表示部 1 2 の第 2 方向 D 2 の長さよりも長くてよい。

【 0 0 2 5 】

50

第 1 機能表示部 1 1、第 2 機能表示部 1 2 及び第 3 機能表示部 1 3 は、文字を有してよい。第 3 機能表示部 1 3 の文字 1 3 C の寸法は、第 1 機能表示部 1 1 の文字 1 1 C の寸法よりも大きく、第 2 機能表示部 1 2 の文字 1 2 C の寸法よりも大きくてよい。第 3 機能表示部 1 3 の文字 1 3 C を目立たせることができ、使用者は、第 3 機能をより把握し易い。また、機能表示部の文字の大小関係によって、各機能の関係性を示すことができる。そのため、使用者は、第 3 機能が第 1 機能及び第 2 機能に関連する機能であること、又は第 3 機能が第 1 機能及び第 2 機能の包括的な概念の機能であることを感覚的に把握できる。なお、機能表示部が複数の文字を有する形態にあっては、最も大きい寸法の文字によって比較できる。具体的には、第 3 機能表示部 1 3 における最も大きい文字が、第 1 機能表示部 1 1 における最も大きい文字よりも大きく、かつ第 2 機能表示部 1 2 における最も大きい文字よりも大きければよい。

10

【0026】

第 3 機能表示部 1 3 の面積は、第 1 機能表示部 1 1 の面積よりも大きく、第 2 機能表示部 1 2 の面積よりも大きくてよい。本態様によれば、第 3 機能表示部 1 3 を目立たせることができる。また、第 3 機能表示部 1 3 によって示される第 3 機能が、第 1 機能及び第 2 機能に対して包括的な概念であることを感覚的に示すことができる。また、第 3 機能表示部 1 3 の第 2 方向 D 2 の長さは、第 1 機能表示部 1 1 の第 2 方向 D 2 の長さよりも長くてよく、第 2 機能表示部 1 2 の第 2 方向 D 2 の長さよりも長くてよい。第 3 機能表示部 1 3 の第 1 方向 D 1 の長さは、第 1 機能表示部 1 1 の第 1 方向 D 1 の長さよりも長くてよく、第 2 機能表示部 1 2 の第 1 方向 D 1 の長さよりも長くてよい。

20

【0027】

第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 の一方における主の色は、無彩色であってよい。また、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 の他方における主の色は、有彩色であってよい。無彩色は、色をもつ色相、明度、飽和度のうち、明度だけで表現される色であり、白から黒まで灰色を含む色である。有彩色は、無彩色以外の色であり、色味の違いを示す色相、色の明暗を示す明度、色の变化の度合いを示す飽和度の三要素すべてを含む色である。また、主の色は、機能表示部において最も広い面積で付された色である。本態様によれば、使用者は、無彩色と有彩色を区別し易く、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 をより区別し易くなる。

【0028】

30

第 3 機能表示部 1 3 の主の色は、有彩色であってよい。第 3 機能表示部 1 3 の主の色は、第 1 機能表示部 1 1 と第 2 機能表示部 1 2 の他方における有彩色の補色であってよい。同じ有彩色であっても、補色の関係の色は、区別して認識され易い。本態様によれば、使用者は、第 1 機能表示部 1 1 と、第 2 機能表示部 1 2 と、第 3 機能表示部 1 3 とを、区別して認識し易く、各機能をより把握し易い。本実施の形態の第 1 機能表示部 1 1 の主の色は、有彩色のオレンジ色であり、第 2 機能表示部 1 2 の主の色は、無彩色の灰色であり、第 3 機能表示部 1 3 の主の色は、有彩色の青色である。オレンジ色と青色は、補色の関係である。

【0029】

第 3 機能表示部 1 3 は、衛生用品 1 0 0 を模したデザインを有してよい。本態様によれば、使用者は、第 3 機能と衛生用品 1 0 0 を共に把握でき、機能と製品を関連付けで認識し易い。本実施の形態の衛生用品 1 0 0 は、操作具に取り付けて使用される清掃シートであり、清掃シートを清掃具に取り付けた状態を示している。また、第 3 機能は、当該機能を発揮する位置（本実施の形態では、清掃面）に配置されている。

40

【0030】

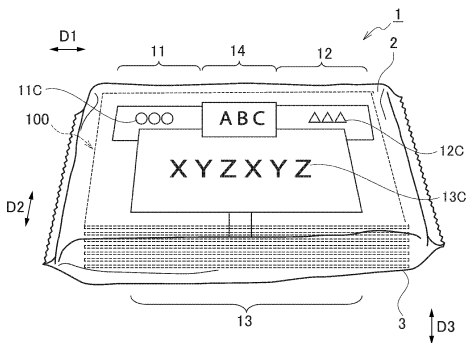
以上、上述の実施形態を用いて本考案について詳細に説明したが、当業者にとっては、本考案が本明細書中に説明した実施形態に限定されるものではないということは明らかである。本考案は、実用新案登録請求の範囲の記載により定まる本考案の趣旨及び範囲を逸脱することなく修正及び変更態様として実施することができる。したがって、本明細書の記載は、例示説明を目的とするものであり、本考案に対して何ら制限的な意味を有するも

50

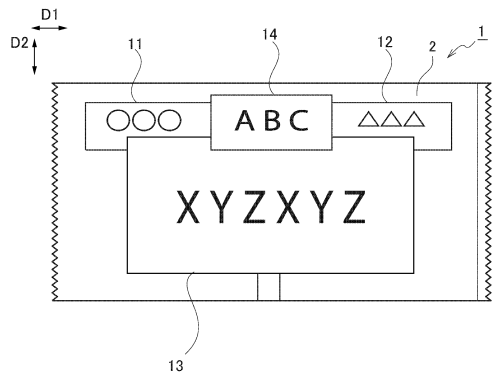
のではない。
【符号の説明】
【 0 0 3 1 】

- 1 : パッケージ
- 2 : 表面
- 3 : 背面
- 1 1 : 第 1 機能表示部
- 1 2 : 第 2 機能表示部
- 1 3 : 第 3 機能表示部
- 1 4 : 名称表示部
- 1 0 0 : 衛生用品
- D 1 : 第 1 方向
- D 2 : 第 2 方向
- D 3 : 第 3 方向

【図面】
【図 1 】



【図 2 】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内